

世界共通語は必要か～最終弁論～

「世界共通語は必要か」必要側最終弁論

これから必要側の最終弁論を始めます。

私たちが、やはり世界共通語が必要だと考える根拠は3つあります。1つめは言葉を交わすことで新たに得るものが増えるということ、2つめに言葉の壁がなくなるということ、3つめに世界共通語がなければ、世界の平和はいつまでもこないということです。

世界共通語があればいろいろな人と会話ができます。外国の人とも会話ができて、お互いの国のことが分かり、得るものが増えます。世界共通語がなければどうでしょう。人々はお互いの国の文化が分かり合えず、いつまでたっても同じ未来がくり返されるのではないですか。

外国の人との差別がある中で、世界共通語があれば、世界はいつまでも平和でいられます。世界共通語がなければどうでしょう。いつまでたっても言葉の差別ができて、平和はおとずれません。

最後に「世界共通語がなければ、世界の平和がいつまでもこない」ということについてですが、2001年9月11日に何が起きたか皆さんは知っていますか。アメリカの世界貿易センタービルに2機の旅客機が追突しました。そして1機は国防総省に、そしてもう1機は墜落しました。このように恐ろしい事件が起こったのはなぜだと思いますか。それは言葉の行き違いやお互いが分かり合っていなかったからだと私たちは考えます。世界共通語がないと意見の食い違いが起きるのではないのでしょうか。

これで、私たち必要側の最終弁論とさせていただきます。ありがとうございました。

「世界共通語は必要か」不必要側最終弁論

僕たち不必要側チームは、あくまでも世界共通語は必要ないと主張します。

世界共通語にすると、今も失われつつある、それぞれの国の文化を失ってしまいます。日本でも、漢字、平仮名、片仮名、ローマ字などを使った独特の書き方や、昔からあることわざ、慣用句などの文化がなくなってしまうのです。これで本当によいのでしょうか。日本には、世界に誇ることができる日本古来のすばらしい文化があるのです。これはこれからも引き継いでいかなければいけないのです。今まであった4種類の文字が、こんなシンプルなものになってしまいます。

次に、今は普及しつつある英語を使っていれば十分だということです。英語があまり喋れない人もいますが、まったく最初から世界共通語を習うよりましです。日本でもイタリアでも、学校で英語を習っているのです。それは必要だから、大切だからでしょう。英語なら今のたくわえもあります。今やトヨタやブリヂストンも英語が社内公用語となっています。いまさら世界共通語なんて要らないでしょう。

最後に、言葉というものは、人間が生きていく中で、常に変化しつつあるものだということです。日本でも地方に方言があるように、共通語をつくっても国によって言葉が微妙に変わってしまい、言葉のすれ違いが起きてしまうでしょう。これではあまり意味がありません。要するに世界共通語は必要ないのです。

これで不必要側の最終弁論を終わります。ありがとうございました。